

国府支援学校 新校舎棟

令和7年度公共建築月間 徳島県県土整備部営繕課



「ダイバーシティとくしま」の先導モデル

児童生徒の増加に伴う狭隘化、築年数経過に伴う老朽化への対応とともに、すべての児童生徒がのびのびと個性や自主性を発揮できる教育環境を目指し、「障がいのある子どもたちの才能開花と自立支援」「地域と一体化したキャリア教育」「『進化型教福連携』に向けた関係団体との連携」「地域との交流や地域貢献の深化」をテーマとして施設整備を進めています。

国府支援学校 鳥瞰



概要



工事名称：徳島県立国府支援学校校舎棟新築工事
工事場所：徳島県徳島市国府町矢野
工事内容：新築工事（改築）
構造規模：鉄筋コンクリート造4階建て
建築面積：2,906㎡
延床面積：9,982㎡
工 期：令和5年10月11日～令和7年3月20日（建築物主体）

設計・監理・施工



設計：株式会社あい設計四国支社
監理：あい設計・上設計 共同企業体
施工：〈建 築 工 事〉姫野組・鳳建設・井上建設 共同企業体
〈電 気 工 事〉三笠電機・那賀川電機 共同企業体
〈管 工 事〉福富工業・堀井産業 共同企業体
〈空 調 工 事〉岡村工業・三和空調 共同企業体
〈電気工事(2)〉四国電気工業株式会社
〈外構他工事〉株式会社数藤組



中層化による空間の確保

新校舎棟を4階建て（旧棟は2～3階建て）とすることで、「特別支援学校設置基準」を踏まえた教育環境を、限られた敷地内で実現するための床面積を確保しています。



多様な教育環境への配慮



教室の家具を可動式とし、自由な教室レイアウトを可能とするなど、フレキシブルな空間活用に配慮した計画となっています。

また、所要のバリアフリー性能はもちろん、小・中・高等部ごとに建具や壁の色を塗り分けるなど、ユニバーサルデザインにも配慮しています。

